

NEWS RELEASE

2016-18
2017.02.03

本年4月1日から「PiTaPa IC連絡定期券」の 発売範囲を拡大します

阪急電鉄では、お客様の利便性向上を図るため、新たに西日本旅客鉄道、京阪電気鉄道、大阪高速鉄道、神戸市交通局（地下鉄）との「PiTaPa IC連絡定期券」を発売します。詳細は次のとおりです。

1. 発売開始日

2017年4月1日（土）

2. 「PiTaPa IC連絡定期券」の発売範囲の拡大について

<p>新たに発売する IC連絡定期券 (別紙参照)</p>	<p>阪急電鉄と次の各社局との連絡定期券 西日本旅客鉄道^注、京阪電気鉄道^注、大阪高速鉄道、神戸市交通局（地下鉄）</p>
<p>対象とするカード</p>	 <ul style="list-style-type: none"> ● STACIA PiTaPa カード、STACIA PiTaPa NC カード、PiTaPa ベーシックカードなど表面あるいは裏面に定期券の印字が可能な PiTaPa カードが対象です。 ※定期券面の印字スペースがないカードは除きます。
<p>発売券種</p>	<p>「通勤定期券」および「通学定期券」 ※障がい者割引定期券を除きます</p>
<p>通用期間</p>	<p>1か月・3か月・6か月</p>
<p>適用運賃</p>	<p>連絡定期を発売する両社の定期旅客運賃を適用（磁気定期券と同額）</p>
<p>発売場所</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 阪急電鉄の定期券発売窓口 ● 阪急電鉄各駅に設置の「定期券発売対応券売機（赤色の券売機）」

注：阪急電鉄～西日本旅客鉄道～京阪電気鉄道の3社線に跨る連絡定期券を含みます。



3. 各事業者における発売

IC連絡定期券は、当社のほか西日本旅客鉄道、京阪電気鉄道、大阪高速鉄道、神戸市交通局でも発売します。各社での発売開始日、対象カードは次のとおりです。

事業者名	発売開始日	対象カード
西日本旅客鉄道	2017年3月18日(土)	ICOCA
京阪電気鉄道	2017年4月1日(土)	ICOCA
大阪高速鉄道	2017年4月1日(土)	ICOCA
神戸市交通局	2017年4月15日(土)	PiTaPaカードならびにICOCA

4. その他

- ① すでにIC連絡定期券発売範囲の磁気定期券とPiTaPaカードをお持ちの場合は、当社の定期券発売窓口または定期券発売対応券売機(赤色の券売機)において、IC連絡定期券に発行替え(変更)が可能です。
- ② PiTaPaカードをお持ちでない場合は、まずPiTaPaにご入会ください。
- ③ 磁気連絡定期券についても、これまでどおり発売します。

<< ご参考 >>

すでに当社と相互に「PiTaPa IC連絡定期券」を発売している事業者は、次の各社です。
阪神電気鉄道、神戸高速線、能勢電鉄、神戸電鉄、山陽電気鉄道、神戸新交通

- ※ 阪急阪神の「STACIA PiTaPaカード」については、株式会社阪急阪神カードのホームページ <https://stacia.jp/> で詳しくご紹介しています。
- ※ 「PiTaPa」は、株式会社スルッとKANSAIの登録商標です。
- ※ 「ICOCA」は、西日本旅客鉄道株式会社の登録商標です。

以上

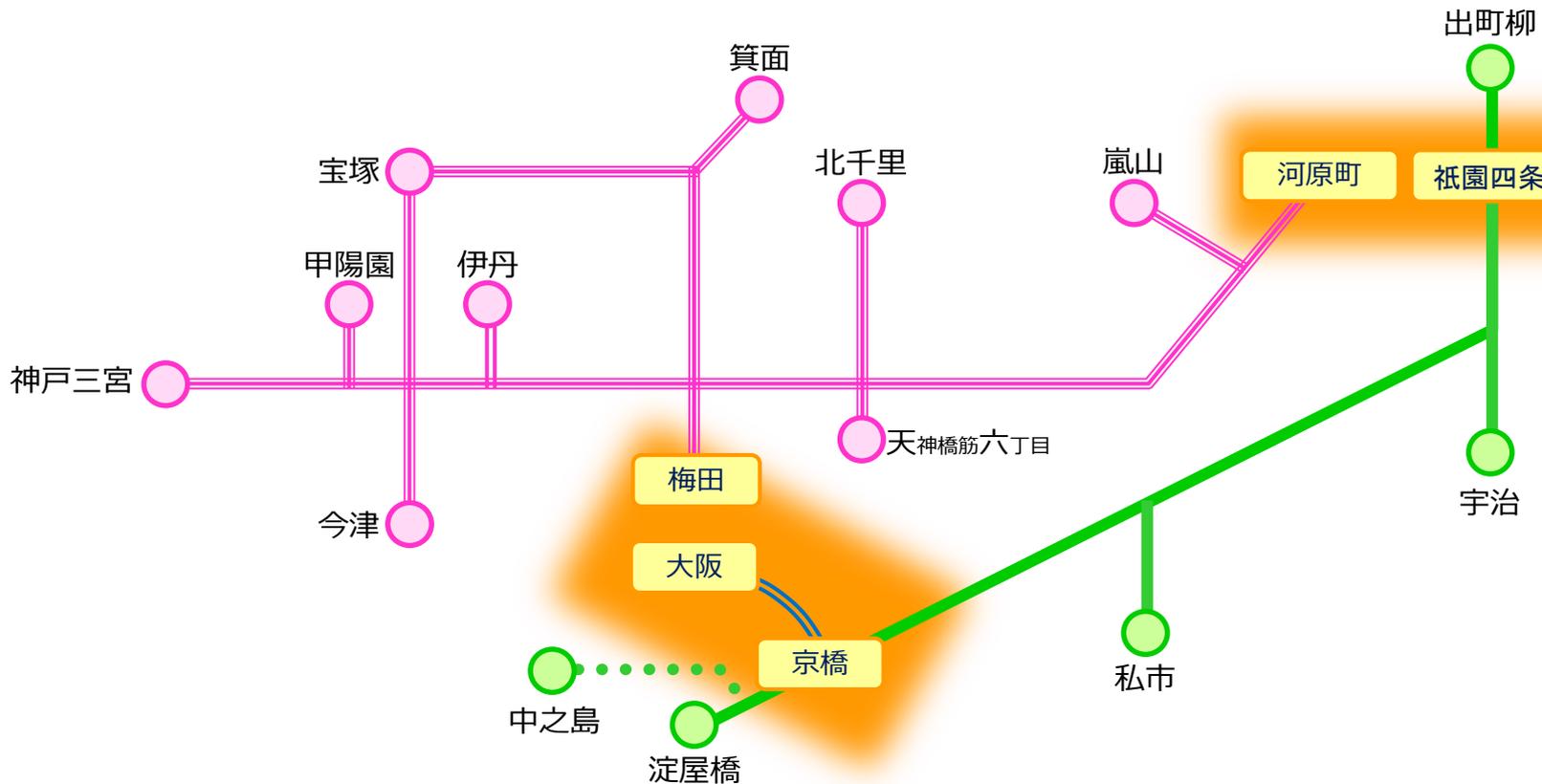
- 【添付資料】

別紙

 連絡定期券発売範囲(概略路線図)
- 【資料配布先】 青灯クラブ、近畿電鉄記者クラブ、神戸市政記者クラブ

阪急—京阪 連絡定期券 発売範囲

河原町接続、梅田・JR京橋接続



凡例

【定期区間】

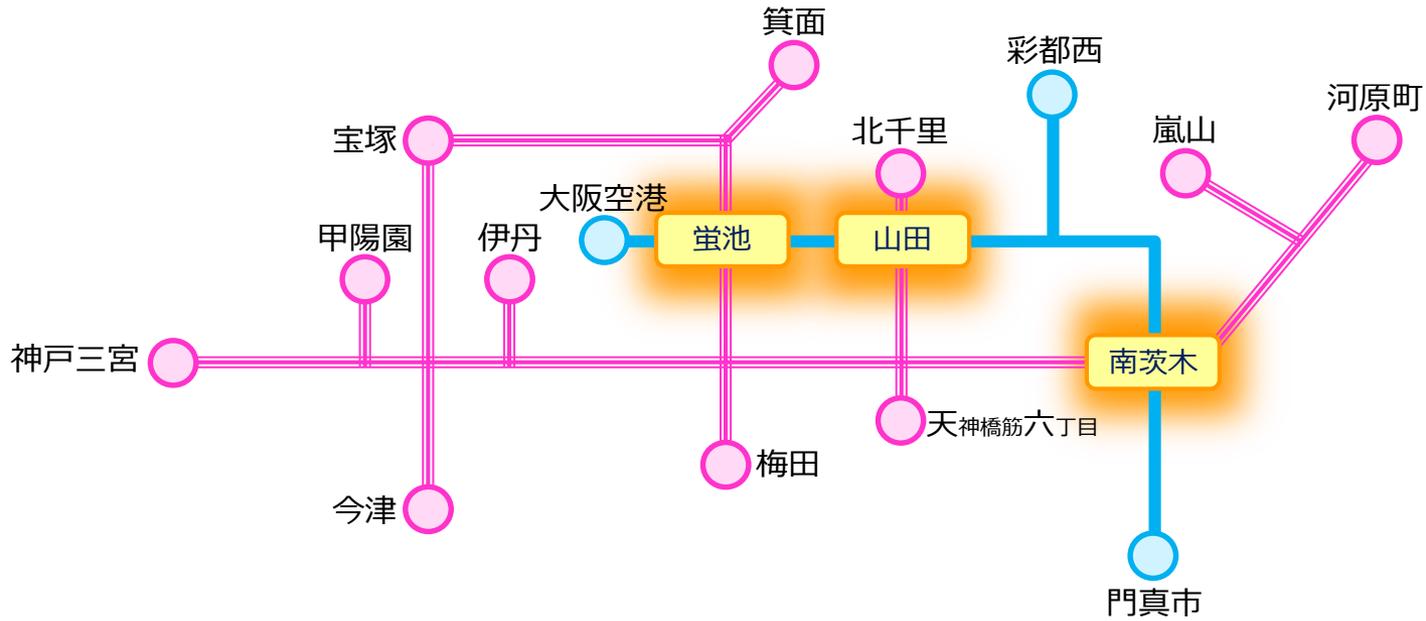
- 阪急 (pink line)
- 京阪 (green line)
- JR西日本 (blue line)
- (阪急非発売区間 (dotted line))

【接続駅】

(Yellow box)

阪急—大阪高速 連絡定期券 発売範囲

蛍池接続、山田接続、南茨木接続

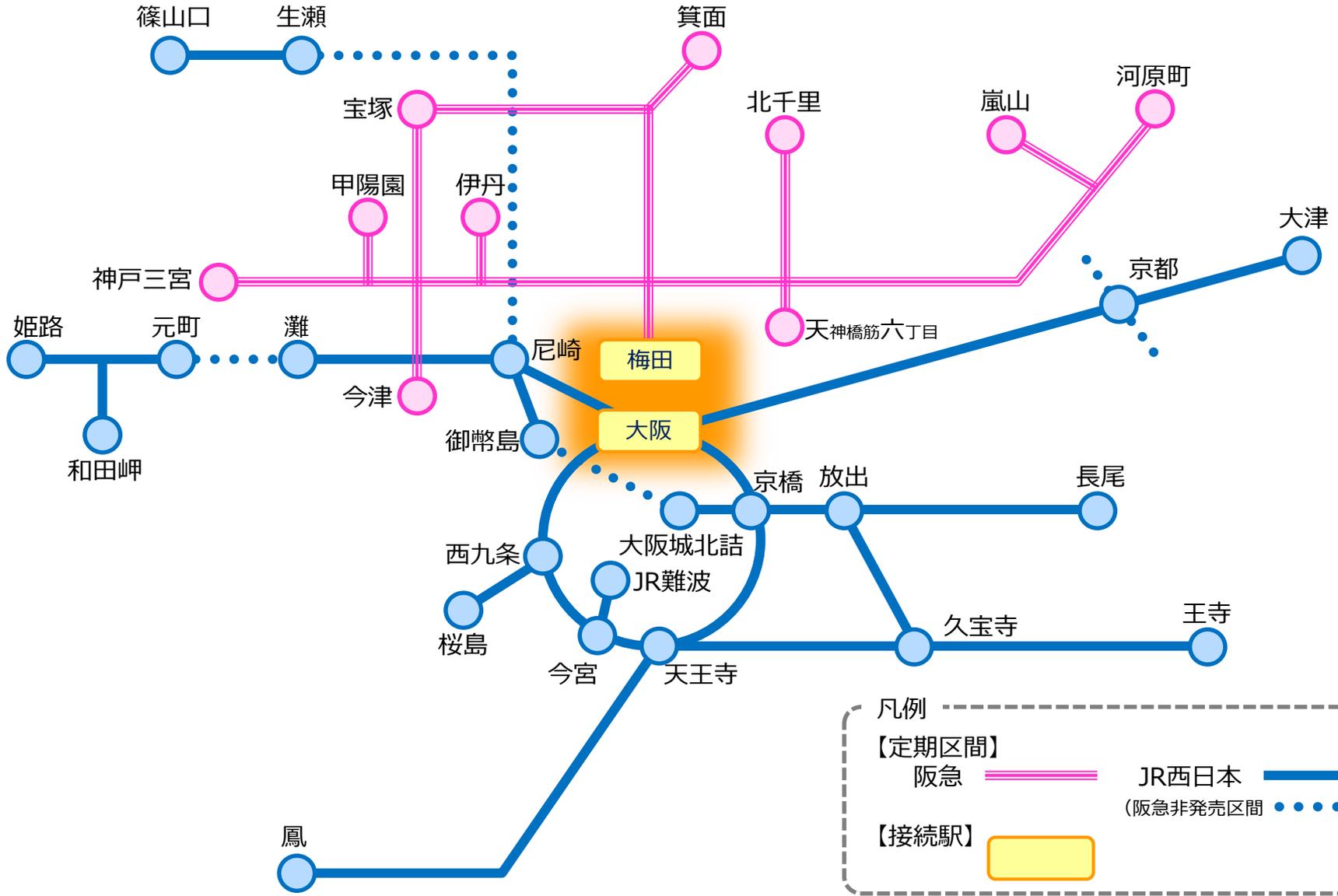


凡例

【定期区間】
阪急  大阪高速 

【接続駅】 

阪急—JR西日本 連絡定期券 発売範囲 梅田接続



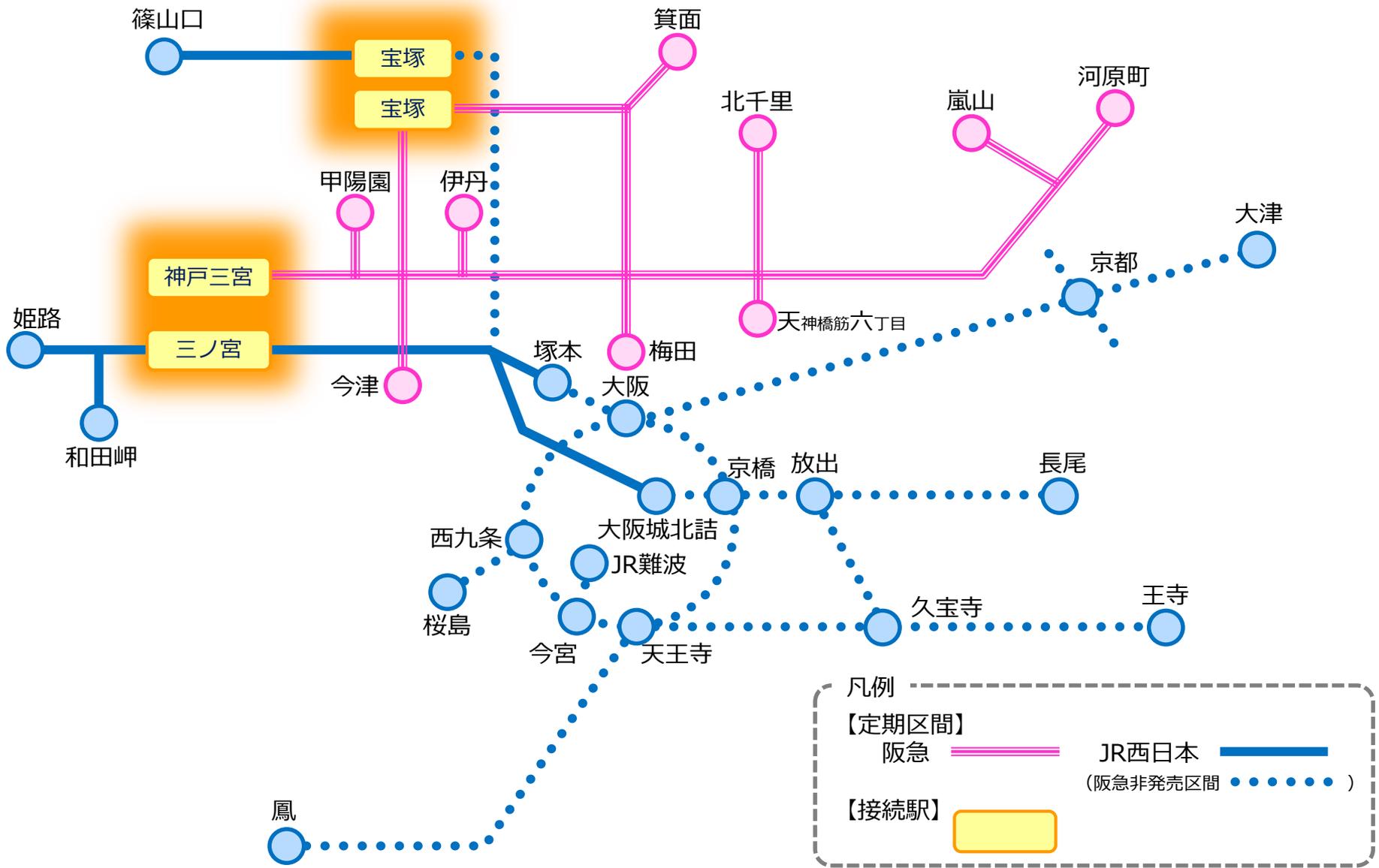
凡例

【定期区間】
 阪急 —— JR西日本 ——
 (阪急非発売区間)

【接続駅】

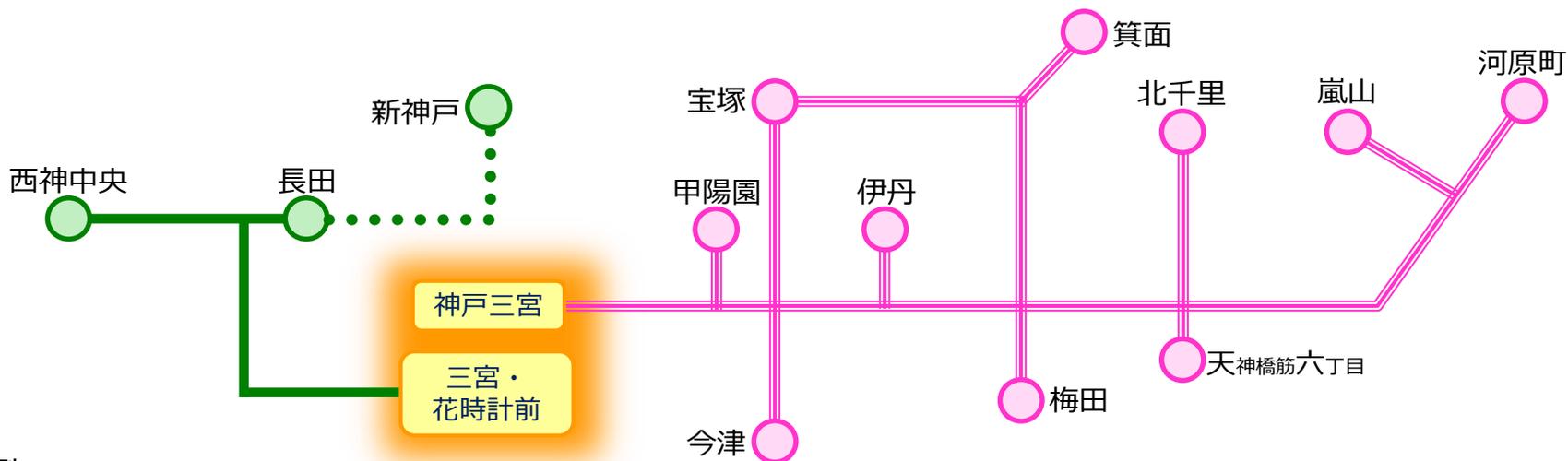
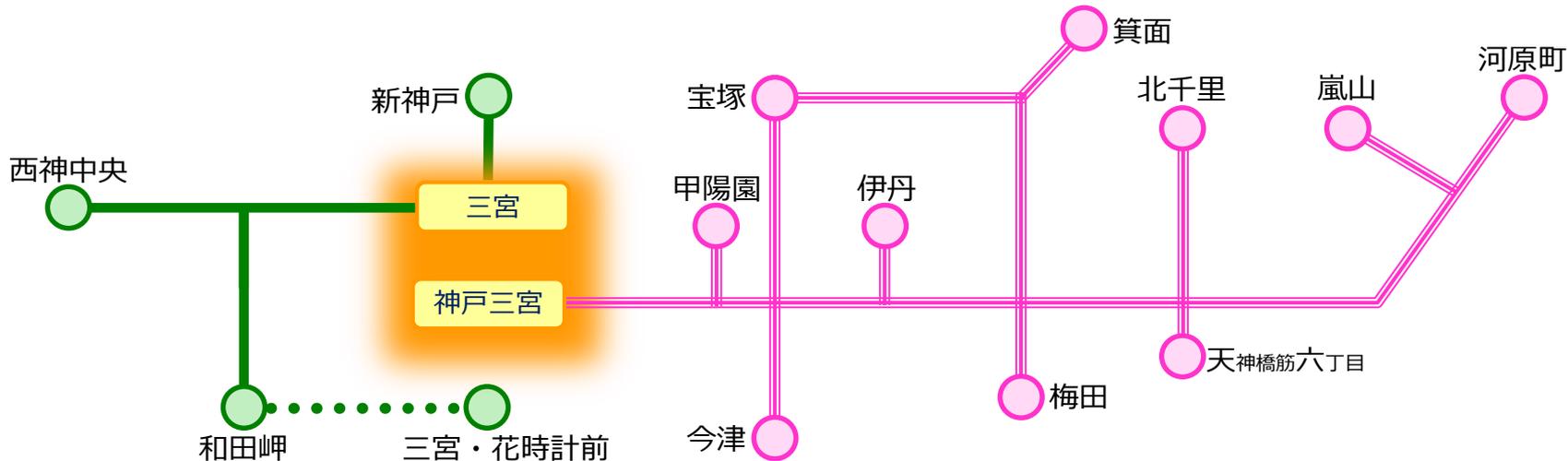
阪急—JR西日本 連絡定期券 発売範囲

宝塚接続、神戸三宮接続



阪急—神戸市交通局 連絡定期券 発売範囲

神戸三宮接続



凡例

【定期区間】
 阪急 神戸市交通局
 (阪急非発売区間)

【接続駅】